

植物多様性センターの「ヤブコウジのどこが牛？」

サクラソウ科（旧ヤブコウジ科）の常緑小低木のヤブコウジは、お正月の縁起の良い植物のひとつとされています。同じ仲間のマンリョウ「万両」、カラタチバナ「百両」に対し、それより小型で実も少ないヤブコウジは「十両」とも呼ばれます。それでは、ヤブコウジにもうひとつの別名「紫金牛」（しきんぎゅう）」があるのはご存知でしょうか？乾燥した根（匍匐茎）の生薬名だそうです。



花：夏に5裂した花冠の小さな白い花を下向きにつける



実：秋～冬に小さなサクランボのような実を吊り下げる



葉：細かい鋸歯のある濃い緑色の常緑の葉を輪生する



根：太く長い匍匐茎が土中を浅く這って、細根をつける